



「心配」は素敵な言葉

校 長 中谷 勝行

「大丈夫？ 心配です。」と言われたら、「自分はだめなのかな。よくないことがあるから、心配をかけているのかな。」などと否定的に捉えてしまいませんか？

「心配」の意味を調べると、確かに「①あれこれ考えて悩むこと。気がかり。不安。」とありますが、もう一つ「②心くばり。気づかい。」という意味もありました。

「心配」は、「心配り（こころくばり）」を音読みした言葉だそうです。すなわち相手を気にかけて、気遣うことが元々の意味で、「気にかかる」ことから、気がかり、不安、モヤモヤする気持ちなどを表すようになりました。

「相手のことを思いやる」という意味があることを知ると、「心配」という言葉のイメージが少し変わってきます。例えば「あなたのことが心配です。」は、「あなたのことを気にかけています。」という優しい気持ちが入っている素敵な言葉だと捉えることができ、何となく嬉しい気持ちになります。

学校生活では多くの子供たちが楽しく毎日を過ごしていますが、表面的には分からない不安があるかもしれません。子供たちに関わる教職員は、子供たちのことを大切に思い、心を配り、気にかけて、心配しています。ご家庭でもお子さんとたくさん関わっていただき、温かい気持ちで気にかけて「心配」していきましょう。

東京都教育委員会では、毎年6月・11月・2月を「ふれあい月間」と定め、いじめや不登校、悩みなどに着目し、子供たちの健全育成を目指した取組を行っています。本校でも「いじめ防止アンケート」や「スクール・カウンセラーによる5年生の全員面談」などを行い、子供たちが相談できる機会を積極的に設けています。気がかりなことや不安なことがあったら、安心して先生たちに話してください。

「稲作活動が始まりました！！」

今年度も地域の皆様にご協力いただき、稲作活動が始まりました。まずは、1年生の『もみふり』からスタートしました。稲作担当の梅田先生から説明を聞いて、苗床にたくさんの種をまきました。次は2年生の苗取り活動になります。それまでしっかりと水やりをして、苗を大きく育てていきます。



【もみふりをする1年生】



【2年生 ミニトマト】



【2年生 やさいのはたけ】



【2年生 ナスとキュウリ】



【1年生 アサガオ】

2年生は生活科の学習で夏野菜を育てています。毎朝、登校すると自分の鉢植えに水やりに行く姿が見られます。小さな青い実が付き始めてきました。夏休みを迎える頃には、みずみずしい夏野菜が実っていることでしょう。

1年生のアサガオもたくさんの芽が出てきました。間引きをした芽を持ち帰りますので、ご家庭でもプランターなどで育ててみてください。